

# 社会科学習指導案

日 時 平成30年11月8日(木) 6校時  
学 級 2年3組(男子13名 女子17名) 30名  
場 所 2年3組  
指導者 川村 公人

## 1 単元(題材)名

地理的分野 第3章 日本の諸地域

3節 近畿地方―歴史の中でかたちづくられてきた人々の暮らし―

## 2 本単元(題材)について

### (1) 教材観

本単元は学習指導要領の地理的分野の内容(2)日本の様々な地域 ウ日本の諸地域であり、「日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域の特色ある地理的事象や事柄を他の事象と有機的に関連付けて追究する活動を通して、日本の諸地域の地域的特色をとらえさせることをねらいとしている。

近畿地方は、地域の産業、文化の歴史的背景や開発の歴史に関する特色が顕著である。歴史的遺産が地域の人々の努力によって数多く保存されている。また、外国人訪問客も多い地域であり、歴史的分野とも関連させながら、資料の適切な読み取りをもとに考察させる題材として有効である。

地域的特色を追究するための課題の設定をもとに、様々な資料を適切に活用して考察し、その結果を表現する学習活動に取り組ませたい。

### (2) 生徒観

入学後の第1回目の授業では、「中学校での社会科とはどのような学習なのだろうか」を学習課題としてオリエンテーションを行った。その中で確認したことは、5W1Hをもとに事実を把握すること、特に「なぜ？」(WHY)を視点として考えていくこと、そしてその際重要となることは資料から適切な情報を読み取る力であり、「資料から情報を読み取り、得た情報をもとに他者に伝えること」(in put から out put)ができるようになることを目標にすることだった。普段からノートの使い方も指導を吟味し、丁寧に学習に取り組んだ成果もあり、確実に力をつけている生徒もみられ、社会科に対する関心意欲も高い。「なぜ？どうして？」の問いから「考えること」「考えたことを伝えること」「他者の考え、発表に耳を傾け」「考えを深める」学習活動を進めていきたい。なお、本校の社会科における目指す生徒像は次の通りである。

- ① 地図や統計など各種の資料から必要な情報を集めて読み取ることができる生徒。
- ② 社会的事象の特色や事象間の関連について考えたり、事象の意味や意義を解釈したりすることができる生徒。
- ③ 社会的事象に対する自分の考えを、根拠を明らかにしながら説明することができる生徒。
- ④ 意見交流を通して、自分の考えを深めることができる生徒。

### 3 単元の指導目標及び評価規準

#### (1) 指導目標

- ア 近畿地方の地域的特色を，産業や文化の歴史的背景や開発の歴史に着目し，他地域との結びつきなどに関連付けて考察できるようにする。
- イ 近畿地方の地理的事象の形成や特色には，歴史的な背景があることをとらえることができるようにする。

#### (2) 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>近畿地方の自然環境，人口，産業などの特色について概観する中で特に伝統的な文化と歴史的背景に関心を持ち，設定した追究テーマを基に地域的特色を意欲的に追究しようとしている。</li> <li>都市の形成，歴史的な景観や伝統的な文化の継承・保存について関心を持つようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近畿地方の地域的特色を，歴史的背景を中核とした考察を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現しようとしている。</li> <li>近畿地方の様々な都市の特色について，その歴史的背景の違いに着目して考察し，表現しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近畿地方の地域的特色に関する各種の地図や統計，写真などの資料を収集し，情報を適切に選択して，それを基に読み取ったり，まとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近畿地方について，自然環境や人口，産業などの特色を大まかにとらえている。</li> <li>近畿地方について，歴史的背景を中核とした考察を基に地域的特色を理解し，その知識を身に付けている。</li> </ul>

### 4 単元の指導計画

学習の内容と指導目標	観点				評価規準
	関	思	資	知	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">単元の学習課題 近畿地方で、現在見られる特色ある都市や産業が発達してきたのはなぜでしょうか</div>					
1 近畿地方の生活の舞台	◎				近畿地方の歴史的背景について，意欲的に追究しようとしている。
			○		近畿地方の自然環境の地域による違いを，地図や雨温図を使ってとらえている。
2 近畿地方の人々の営み		◎			近畿地方が歴史的な先進地域で，それが地域の都市や産業に関連していることをとらえている。
3 古都の成り立ちと現在(本時)		◎			京都・奈良に世界から観光客が来る理由を，その歴史的背景からとらえている。
	○				京都・奈良に残っている歴史的な景観の保存の意義と課題に関心を持っている。

4 都市と郊外の成り立ち	○			地名には歴史的な由来があることに興味を持っている。
		◎		大阪市が江戸時代から商業都市として発展し、私鉄によって大阪大都市圏の形成が進んだことをとらえている。
5 現代に開発されたニュータウン			◎	神戸市などで大規模な開発が行われてきたこととその問題点を、地図や写真を使って読み取っている。
6 単元のまとめと振り返り	◎			近畿地方の地域的特色について、その歴史的背景に着目して、自分なりに工夫して表現している。

## 5 本時の指導

### (1) 本時の目標

ア 京都・奈良には人々の努力と工夫によって、歴史的な町並みが多く残されており世界から多くの観光客が来ていることをとらえることができる。

イ 歴史的な町並みの保存と開発について、調和という視点から多面的に考えることができる。

### (2) 指導の構想

「思考力・判断力・表現力」を育てるための言語活動のポイント

① 資料から適切な情報を読み取り、自分の予想を書く。「思考力・判断力」【読む】【書く】

② グループでの活動を取り入れながら読み取った情報を基に考えをまとめ、発表する。

「表現力」【聞く】【話す】

### (3) 本時の評価基準

観点	B おおむね満足できる	努力を要すると判断された生徒への手立て
思考・判断・表現	・京都・奈良に世界から観光客が来る理由を、その歴史的背景や資料から考察し、文章で表現している。	・適切な資料を示し、キーワードを用いて文章表現させる。
関心・意欲・態度	・学習のまとめとして、京都・奈良に残っている歴史的な景観の保存の意義と課題に関心を持ちながら、まとめようとしている。	・歴史的な景観が多く残されていることやそれに伴う課題や人々の工夫を確認し、まとめさせる。

(4) 本時の展開例

学習過程	学習内容および学習活動	指導上の留意点	教具◇・評価◆
導入 10分 <b>見通し</b>	1 既習内容の確認と学習課題の設定 (1) 単元テーマを基に近畿地方の特徴を考える。 (2) グラフの読み取りから、課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の既習事項から、古都として栄え今に至っていることに気付かせる。</li> <li>・京都市を訪れる観光客が増え続けていることに注目させる。</li> </ul>	◇写真資料 (歴史的建造物) ◇ワークシート ◇グラフ資料
展開 課題 解決  25分	<p data-bbox="296 539 1225 633" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【学習課題】 京都を訪れる観光客は、なぜ増えているのだろうか</p> 2 学習課題の追究 (1) 観光客が訪れる理由と観光客が増え続ける理由を考える。 <p data-bbox="296 826 1192 873" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">言語活動① 資料から適切な情報を読み取り、自分の予想を書く。</p> (2) グループで考察する。 <p data-bbox="296 1019 1192 1113" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">言語活動② グループでの活動を取り入れながら読み取った情報を基に考えをまとめ、発表する。</p> (3) グループのまとめを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の考えを導き出させやすいように、資料を提示する。歴史的価値の保存の意義と課題にふれさせる。</li> <li>・ワークシートに各自の予想を書き出させる。</li> <li>・グループで考えを出し合い、ホワイトボードにまとめさせる。</li> <li>・発表に際しては「学びを深める4つの誓い」に基づいた聞き方、話し方を実践させる。【聞く】 【話す】</li> </ul>	◇資料集  ◆【思考・判断・表現】 歴史的背景や資料から考察し文章で表現しているか   ◇ホワイトボード
終末  振返り 15分	3 まとめと振り返り (1) 学習課題に対するまとめを文章で書く。 <p data-bbox="296 1644 1450 1816" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【まとめ】京都市には、歴史的価値が高い文化財が多数残されており毎年多くの外国人観光客が訪れる。多くの文化財は観光資源として活用されるとともに、町の景観を守るための人々の工夫や努力がある。保存と開発の調和、個人の価値と町づくりの調整といった課題もある。</p> (2) 感想として、気付き、発見を発表する。 4 次の予告（見通し）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容、段落構成等まとめる際の留意点を示す。</li> <li>・学習を通して気付いたこと、感じたことを記入させる。【書く】</li> <li>・話し方、聞き方を確認する。</li> <li>【聞く】 【話す】</li> <li>・次時の学習内容について提示する。</li> </ul>	◆【関心・意欲・態度】 関心を持ちながらまとめているか